

総合計画審議会第2回会議で出された意見に対する考え方

頁	項目	意見	考え方
16～17	進捗管理	費用対効果を検討し、評価・反省をしっかりしていただくと良い。PDCAとあるが、CとAをどのように行うかも検討していただきたい。	評価年度において評価を行い、トップヒアリングで総括を行いながら、その内容について、実施中の事業や次年度の計画に反映させていきたい。
		評価方法や進捗管理をわかりやすくあるが、協働を掲げるとなると住民も評価に参加してもらうような制度にしてはどうか。	評価のあり方については、今後検討していきたい。
18～22	人口フレーム	人口減少についても、社会増減でどの程度人口を増やすか明らかにし、1人に対しどの程度投資するか検討すると良い。	社会増減については、目標指標を設定し取り組んでいき、達成状況の分析と併せて費用対効果も勘案しながら進めていきたい。
		毎年人口の流入流出を分析し、対策を講じていくことがPDCAにつながる。	
		人口減少により既存のやり方では通用しなくなる恐れがあるため、大まかなアウトラインを各係で検討いただき、実行していただきたい。	本計画では、人口減少を大きなテーマとして取り上げており、組織別行動計画でも指標を設定して取り組んでいきたい。
25～61	テーマ別戦略	林業では、防災や環境への貢献が書かれており、他の箇所と関連すると記載されている。タグ付のような形で表現できれば関連性が明記できるのではないかな。	関連ある項目については、各項目に関連する項目について記載していきます。
2659	1-1 協働 7-1 行政運営	行政の事務事業について、10年間の間に行政から地区に移管するという展望があっても良いのではないかな。	行政の事務事業を継続的に見直す中で、各地区の状況を勘案しながら検討していきたい。
26	1-1 協働	町民がボランティア等に親しみやすい環境を充実していくことが必要である。	「戦略のねらい」にあるとおり、住民と議会、行政が互いに活かしあえる環境づくりに取り組んでいきたい。
27	1-2 人権	LGBTの問題については、文言だけでも盛り込むべきなのではないかな。	「戦略のねらい」にLGBTについて記載します。
29	2-1 防災・減災	防災訓練は町主導となっているが、住民が自ら考え行動できるような訓練にならなければいけないと感じる。	「戦略のねらい」にあるとおり、住民主体の避難所運営に取り組んでいきたい。本年度防災訓練においても、避難所運営訓練を地域主導で行っていただいたところであり、今後も継続していきたい。
32	3-1 土地利用	都市計画の線引きについては、見直しをする必要がある。特に新庁舎周辺の土地利用について、長期的な視点で検討してほしい。	「戦略」にあるとおり、都市計画の見直しの検討を行い、新庁舎周辺の拠点整備に取り組んでいきたい。
33	3-2 道路	道路について、歩道の整備やバリアフリー化など優しい道路づくりをお願いしたい。	「戦略のねらい」にあるとおり、地域住民などが快適に移動・行動できるよう、道路（車道・歩道）を計画的に整備していきたい。
36	3-5 空き家等対策	空き家対策について、実態を把握し、可能な限り良い手段を選択していただきたい。	昨年度空き家等実態調査を実施したところであるが、その結果も踏まえ、「戦略」にあるとおり、今後の適正管理の促進や利活用の推進を図っていきたい。

頁	項目	意見	考え方
39	3-8 環境	全体的に廃棄物一辺倒に感じるため、自然環境についての戦略を記載する必要がある。	「戦略」に自然環境についての戦略を追加します。 『自然との調和を図るため、環境に配慮した行動を促します』
		一度失うと取り戻せないため、人を呼ぶことも大切だが、何かあった時の対策や予防も必要だ。	「戦略のねらい」にあるとおり、本町の豊かな自然環境を永続的に保全するため、それぞれの施策の効果や影響を踏まえ、関係者と連携を図りながら進めていきたい。
41	4-1 工業	企業誘致が進んでおり、さらに推し進めていただきたい。	「戦略」にあるとおり、成長性の高い企業の誘致に取り組んでいきたい。
46～51	テーマ5 福祉・健康	貧困問題は重要な問題になる。水面下ではかなり大変な状況であるため、少し言及が必要なのではないかな。	貧困の中でも特に子どもについては、その将来が生まれ育った環境に左右されることが少なくないといった課題があり、一般的に検討していきたい。
49	5-2 高齢福祉	介護について、各市町村の裁量が大きくなっており、市町村間で格差が発生することが懸念される。介護難民が出ないように配慮していただきたい。	社会資源には限界があるため、「戦略のねらい」にあるとおり、高齢者の健康寿命の延伸を図り、いきいきと暮らしていただけるよう、介護予防の取組などを進めてきたい。
52～57	テーマ6 教育	本町にとって文化を守ることは重要であるため、教育のテーマは、「教育・文化」というテーマにできないかな。	テーマ名を「教育・文化」としたい。
53	6-1 学校教育	学校施設について、クーラーが無い状態での学習環境に懸念の声がある。また、IT機器の授業での活用を推進し、町のPRにつなげてはどうか。	財政的な側面はあるが、「戦略のねらい」にあるとおり、すべての教育施設において、心身の成長過程に必要な教育環境を整備していきたい。
		コミュニティスクールが始まろうとしているが、地域が学校の運営や経営にかかわっていくことが重要である。ぜひ、地域でそのような担い手を増やすことを検討していただきたい。	「戦略のねらい」にあるとおり、家庭や地域、学校が一体（コミュニティスクール）となった教育活動を推進していきたい。
59	7-1 行政運営	まちづくりについて、町の職員が引っ張っていくことが重要である。	「戦略のねらい」にあるとおり、時代の変化や社会ニーズを踏まえた施策を柔軟に展開するための組織の確立や人材育成の強化に取り組んでいきたい。
		総合戦略に掲げた理念を総合的に推進する部署が必要である。	策定指針の中に、広域連携を意識したという文言もある。近隣市町との連携も意識した計画になるとよい。
61	7-3 タウンプロモーション	本町は食品やガソリンなどが安い。生活水準の視点で対外的にPRしてはどうか。	生活水準の視点でもタウンプロモーションを推進していきたい。
		タウンプロモーションはここに記載すると行政に任せるイメージになってしまい、もったいなく感じる。これこそ協働にすべきなのではないかな。	タウンプロモーションについては、町としても大きなテーマとして、本計画で初めて取り扱う。町として責任をもって推進していくため、テーマは「行財政運営」とし、「戦略のねらい」に協働の視点を取り入れていきたい。